

姫路市

ごみ収集指定袋制へ

05.3.9 神戸

10月から色分けで分別

姫路市は八日、今年十月から市内全域で開始するプラスチック製容器と

紙類の分別収集に合わせ、可燃ごみ無色半透明のビニール製プラスチック製容器と紙類の分別収集を二〇〇四年一月から一部地域で試行しており、今年十月から市内全域に拡大することを決めている。

同市は可燃ごみとして取り扱っていたプラスチック製容器と紙類の分別収集を二〇〇四年一月から一部地域で試行しており、今年十月から市内全域に拡大することを決めている。

減量化などを図るのが狙い。

指定袋は九月から市内のホームセンターや薬局などで販売予定。市は四月以降、各地区で住民説明会を開いて周知を図る。

一方、同市は来年三月、周辺四町(善寺、安富、家島、夢前)との合併を控えているが、各町で現在行っているごみの分別方法や焼却場所は合併後も当面は継続する方針。

この分別収集に伴って、一年間で約六千トンの削減の徹底や、ごみ全体の意向を明らかにした。リサイクルに向けた分別収集の徹底や、ごみ全体の

この分別収集に伴って、一年間で約六千トンの削減の徹底や、ごみ全体の意向を明らかにした。リサイクルに向けた分別収集の徹底や、ごみ全体の

この分別収集に伴って、一年間で約六千トンの削減の徹底や、ごみ全体の意向を明らかにした。リサイクルに向けた分別収集の徹底や、ごみ全体の

(佐藤健介)